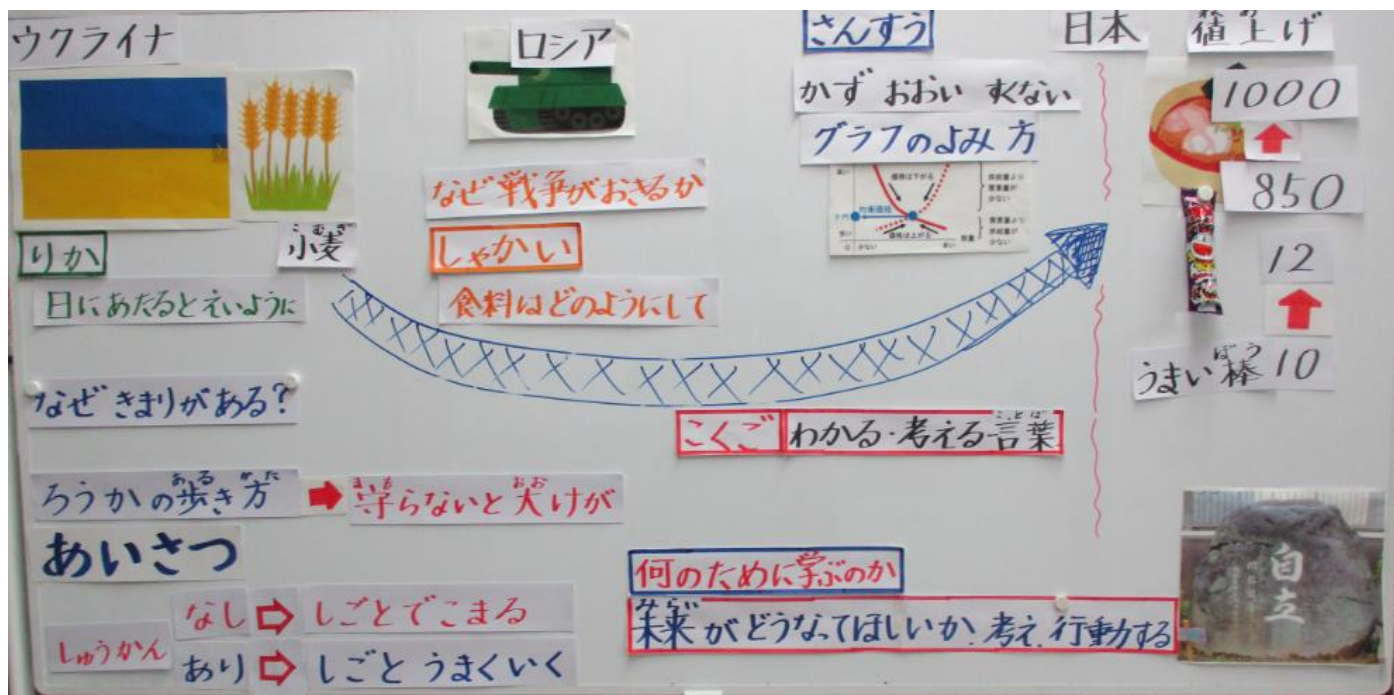


みずくらいど

校長 加藤雅弘

右側通行・あいさつは、何のため？



上の写真は、16日のズーム朝会で使ったものです。

前の週に、小麦の値上がりの理由は、算数、理科、社会の学習内容に関係していることを示し、各教科を学ぶ意味を伝えました。

16日は、「右側を歩く」や「あいさつ」は「なぜ、した方がいいのか」についてです。土曜日の朝、玄関でのあいさつの様子を動画で見せました。1年生がきちんと立ち止まって元気よくあいさつをしていました。また、中学年もわざわざ私の近くまで寄ってきてあいさつをしていました。その中に、廊下を歩いている5年生の児童が写っていました。はじめはうっかり左側を歩いていたが、自分で気付いて右側に移りました。角を曲がる時もコーンの外側を回って右側を確保して歩いていた。

その後、右側通行やあいさつをしないと、どんなことが困るのかを考えました。ボードにもあるように、それぞれ「左側を通ると曲がり角でけがをする」、「将来、仕事をする時にあいさつができなくて困る」ことを伝えました。学校では、「将来、困らないで生きていく」ために学習や生活していることを具体的に想像することで、決まりや習慣を身に付ける意味理解につながります。

次の日の玄関にはこれまで以上にしっかりしたあいさつが響き渡り、廊下では右側を意識して歩く子供が増えました。